

^{令和2年度} 活動報告書



目次

1.	aktaとは・2020年度の活動ミッション2
2.	community center akta······10
3.	アウトリーチプログラム23
4.	ウェブサイトを用いた啓発31
5.	HIV検査普及プログラムと行政連携41
6.	Living Together4
7.	調査・研究52
8.	新型コロナウイルス感染症と新宿二丁目の対応68
9.	まとめ76

1

3

特定非営利活動法人akta

所在地

〒160-0022 東京都新宿区新宿二丁目15番13 号 第二中江ビル302号室

電話番号

03-6380-0833 (木曜~日曜 16 時~22時)

FAX番号

03-6380-0575

代表者 理事長

岩橋恒太

設立

2011年4月1日

役職者

※2020年7月1日現在

理事(理事 長)	岩橋恒太
理事	荒木順
理事	江島啓介
理事	柴田惠
理事	木南拓也
監事	市川誠一
監事	長谷川博史

特定非営利活動法人akta

「コミュニティの中から、コミュニティに向けて」

aktaはアジア最大といわれる、ゲイバーや商業施設が連なる新宿2丁目を拠点にCommunity Based Organizationとして活動します。

私たちの活動は、全ての人がHIVとともに生きているという視点から、多様なセクシュアリティと性の健康の認知と理解をはかり、だれもが自分らしく暮らせる街づくりに寄与することを目的とします。

2019年 日本のHIV/エイズの状況

新規に**1,236人**のHIV感染者・エイズ患者報告

新規陽性者のなかで、

67.2%(831人)

の人たちが

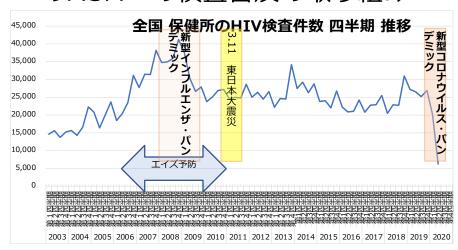
日本国籍の<mark>男性同性間</mark> の性的接触で感染。 新規陽性者のなかで、

約33%(406人)

の人たちが <mark>東京都</mark>から報告。

●東京都梅毒報告1,712人(内、男性が424人同性間性的接触 推定24.8%)

COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み



厚生労働省 エイズ動向委員会報告 ※ただしグラフは、南新宿検査・相談室等公的検査施設等自治体が実施する保健所以外の検査件数を除く

.

令和2年度の計画と実施

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、計画通りのプログラム実施ができなった。 以下「実施できたもの」「できなかったもの」「新たに立ち上げたもの」に分類。

プロジェクト	実施できたもの	実施できなかったもの	新たに立ち上げたもの
センター	・制限を設けての開館 ・展覧会、一部スペース貸し出 し ・センター周知パンフレットの 作成 ・内部研修(相談対応)	・akta café ・人を集めてのイベント企画 ・専門家相談会(年6回) ・スペースの貸し出し(一般)	・新型コロナウイルス感染症対策 ・他団体との意見交換会 ・moyamoya相談会 ・LINE公式の開設(akta利用者用)
アウトリーチ	・デリバリーボーイズ・発送作業	・アダルトデリバリー ・デリバリーキットの作成 ・人を集めての勉強会 ・ボランティア募集	・デリヘルHR・オンライン勉強会・LINE公式の開設(アウトリーチ用)
予防・促進	・コンドーム制作	・予防のための資材(全4種)	・U=Uファクトシートの作成
検査・広報	aktaゆうそう検査インタビュー集の作成monthlyの発行	・緊急事態宣言中の資材印刷 (monthly4月~7月まで)	・クリニックとの連携
ウェブ	・akta.jp ・aktaYouTubeチャンネル ・アーカイブ	・YouTube大型企画	・インスタグラム再スタート ・ウェブコンテンツ紹介ページの 作成
研究・行政連携	・各研究協力、意見交換	・アンケート調査 ・保健師研修会(埼玉) ・検査広報(埼玉)	
その他		・各種ブース出展(パレード、 NLGR、エイズ学会)	・エイズ学会パネル展示 ・新型コロナウイルス感染症プロ グラム

2020年度 活動のミッション

- ●COVID-19の流行を受けセンターおよびプログラムの対応
- ●akta センター長交代に伴う体制づくり
- ●HIV関連機関とコミュニティの、男性同性間のエイズ対策 における「ハブ」機能の継続
- ●HIV感染報告数が増加傾向にあるMSMの若年層対象の予防 行動促進
- ●AIDS発症で感染がわかるケースの多い中高年層へのHIV 検査普及
- ●HIVのリアリティを共有するプロジェクトの継続
- ●コミュニティセンターaktaを基点とした、男性同性間のエイズ対策の促進を目的としたアドボカシー

6

受託事業一覧

- 厚生労働省 同性愛者等向けコミュニティセンター事業(公益財団法人エイズ予防財団受託):community center akta
- 厚生労働省 同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業 HPによる検査相談体制等情報提供:HIVマップ
- 東京都福祉保健局(公益財団法人東京都結核予防会)東京都工 イズ啓発拠点事業: HIV検査普及、トークイベント等、HIVの リアリティの共有プログラム
- 千葉県健康福祉部:HIV検査広報
- 港区みなと保健所:HIV検査広報
- 新型コロナウイルス感染症:拡大防止活動基金

寄付をいただいた団体・個人

株式会社ViiVヘルスケア、団体、個人の方からもご寄付をいただきました。

R

普及啓発活動の状況

講師派遣

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室、東京都iCDC、ぷれいす東京、 グッド・エイジング・エールズ、ギリアド・サイエンシズ株式会社、慶應義 塾大学、東京大学、国立保健医療科学院、公益財団法人エイズ予防財団、東 京大学、MDS株式会社、仙台医療研究センター、国立国際医療研究センター、 コスモPR他。

外部委員会への参加

厚生労働省・公益財団法人エイズ予防財団「世界エイズデーキャンペーンテ 一マ検討会議」、東京都福祉保健局「世界エイズデーポスター審議会」、 新宿区保健所「新宿区HIV/AIDS関係機関ネットワーク連絡会」、日本エイズ 学会学会誌編集員、第34回日本エイズ学会学術集会プログラム委員

9

木~日 16:00 - 20:00

木~日 16:00 - 22:00

金·日15:00-19:00

7月~12月:

- MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 -

コミュニティセンター akta

東京都新宿区新宿2-15-13第2中江ビル301

東京メトロ丸ノ内線・副都心線・都営新宿線 新宿3丁目駅から徒歩3分 6月:

開館時間:16:00 - 22:00(月・火・水曜,年末年始除く)

※新型コロナウイルス感染症の流行を受け、開館日時が流動的となった。

スタッフ:常勤3人、非常勤9人、ボランティア:125人

(2020年4月から2021年1月まで)

総来場者: **1078人** (前年度比19.7%)

初来場者: 182人 (前年度比11.7%)

稼働日: 141日 < 4月~5月は政府による緊急事態 宣言の発出により臨時休館とした 相談件数:111件

(2003年9月から2021年1月まで)

累計来場者数:129,602人

令和2年度「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等一式事業(厚生労働省委託事業)」を 公益財団法人エイズ予防財団が受託、新宿区新宿二丁目にあるセンターの運営をakta。

約300軒の商業施設が密集するアジア最大のゲイタウン "新宿2丁目"で コミュニティの中からコミュニティに向けて普及啓発

community center akta

-HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

- MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 -

コミュニティセンターの機能



フリースペースコミュニティセンターの周知 展覧会::研修会::講習会 ミーティング ドロップ イン



HIV/AIDSの視覚化と啓発普及

情報提供 HIV/AIDS の情報を集約・発信 予防 ::: 検査 ::: 支援 コミュニティの情報 セクシャリティ・ゲイタウン 新型コロナウイルス感染症

医療・検査・行政・NGO・支援 機関等とのネットワーク

相談対応 傾聴し、専門機関につなぐ 感染不安 HIV告知 ドラッグ セクシャリティ! 就労! 生活 新型コロナウイルス感染症

12

- MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 -

開館するにあたっての新型コロナウイルス感染症対策

スタッフによる感染対策

- ・出勤前の検温と体調報告・出勤のチーム分け
- ・マスクの常時着用
- ・手洗いうがいの徹底
- ・手指のアルコール消毒 ・ 定期的な館内消毒と換気
- ・緊急時対応のマニュアル作成とシュミレーション

利用者への感染対策

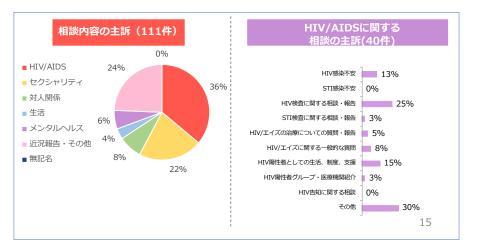
- ・入館前の体調確認 ・検温と手指のアルコール消毒
- ・マスクの常時着用 ・連絡先登録のお願い(任意)
- 他、館内のレイアウト等を変更し感染症対策に努めた。



- MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 -

相談対応

セクシュアリティに理解のあるスタッフが オープンスペースで対応し、支援リソースへつなぐ。



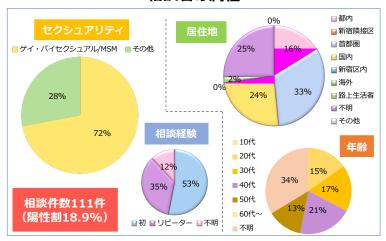
コミュニティセンターの活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	0	3	101	92	103	146	163	241	119	28	29	53	1078
新規 来場 者数	0 (0%)	0 (0%)	4 (4%)	12 (13%)	15 (15%)	29 (20%)	26 (16%)	55 (23%)	15 (13%)	2 (7%)	8 (7%)	6 (11%)	182 (17%)
相談件数	0	5	13	9	19	8	21	6	5	3	9	13	111

14

- MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 -

相談者の属性



新規利用者の獲得













●新型コロナウイルス感染症の流行を受け、来場者数は昨年度に比べ激減してい るが、感染症対策を施し、展覧会等一部の利用を緩和することで、来場者獲得に 努めた。またオンライン上での情報発信に力を入れ、akta.jpのユーザー数を大幅 に増やした。ユーザー数:198,520名(2020年4月~2021年1月末昨年度同時期 と比較して、130.3%)

他、Twitter(akta公式、あくたくん)、facebook、Instagram、akta YouTube CHANNEL、 LINE公式アカウント(akta、デリヘル)で定期的に情報を発信した。

相談・情報提供

- 基本は常勤スタッフ (2名) が対応。 臨時スタッフを含めて定期的に情報の整理 と共有を実施。
- ●件数111件※2月~3月に「aktaゆうそう検査 HIV・梅毒」実施時等に専門家相談を実施

内容:HIVの感染不安や検査、HIV感染が判ってからの生活についてが多く、セク シュアリティやメンタルヘルス等重複した問題について、また新型コロナウイルス 感染症の影響を受け、コロナとセックスについての相談や、自治体によるHIV検査 が中止となるなか、HIVや性感染症の検査がどこで受検できるのかについて、相談 や問い合わせが増加した。

17

スタッフ相談対応研修会

akta相談事例を基に、4つのテーマに沿って専門家を講師として招き、研修会を実施した。 スタッフの対応の平均化や底上げを行い、チームで対応の質の向上を図った。

①「U=U」について~HIV養成者のQOL(生活の質)に影響を与えるものは何なのか?~

実施日: 9月4日 講師: 笹井アスカ氏(ViiVヘルスケア)

実施内容:デリヘル勉強会と同時開催。HIV陽性者を対象としたWEB調査の報告を聞き、意見を共有した。

②ソーシャルワーク~貧困~

実施日:9月24日 講師:加藤歩氏(NPO法人自立サポートセンターもやい)

実施内容:貧困支援の専門家から貧困の実態、生活を支える制度、生活保護利用の実際、ハードルなど貧困 に関する多岐にわたる話を聞いた。

研修終了後は、akta利用者の貧困相談対応、限界設定について話し合った。

③ハームリダクション

実施日:11月19日 講師:古藤吾郎 氏(ソーシャルワーカー・日本薬物政策アドボカシーネットワーク NYAN 事務局長)

実施内容: ハームリダクションの説明、成り立ちを聞き、この概念が重視しているポイントを聞いた。また、 海外の薬物使用施設の紹介、動画を視聴した。ロールプレイも行い、aktaの相談支援でハームリダクション の考え方を取り入れる方法を話し合った。

④HIV陽性者対応

実施日:3月11日 講師:加藤力也氏(ぷれいす東京)

実施内容: ぷれいす東京の団体紹介~HIV陽性者のピアグループミーティングに関する情報を聞き、情報の アップデートを行った。

緊急事態宣言下での実施ということもあり、Zoomを用いて講師からの説明を聞き、参加者からの質問に答 えてもらう形式となった。 19

New!相談機会の提供

「場」をひらき、コミュニケーションすることが難しい現状の中で、HIVやセックス、セクシュア ルヘルス等の話をできる機会を模索した

①リモート電話相談 (緊急事態宣言で休館中に期間限定) 木・土曜 17:00-20:00 無料・匿名 相談件数:1件 ※固定のaktaスタッフが自宅にて携帯電話で対応 メール相談が通常より増加。公式LINEの開設により オンラインでの相談が微増

②ゆうそう検査キットの配布に伴う専門相談 無料・予約制 検査キットを受け取った人限定 2月22日(月),3月1日(月) 16:00-19:00 相談件数: 4件(各日2名)相談員: 1名

③moyamoya aktaで話そう、聞いてみよう 3月5日(金) 16:00-19:00 無料・予約制 相談員:2名 相談件数: 3件 (事前予約:2名、当日:1名) 対面相談とaktaからZOOM相談を実施



18

MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営

新規来場者を増やして、情報にアクセスする機会を提供する

コロナの影響でイベントや展示の開催機会は減少したが、ニーズがあった。



akta主催展覧会 [U=U 2020 HTV の新常識を知ろう」 11月26日(木)-12月25日

来場者数:64人

・世界エイズデーに向けて キャンペーンと同時開催

・期間中12月19日(土) に オンラインTalkShow開催

プライドハウス東京レガ シーと同時開催

· TOKYO AIDS WEEKS 2020に参加

スケア株式会社

協力: NPO法人日本HIV陽 性者ネットワーク・ジャン ププラス、認定NPO法人 ぷれいす東、ヴィーヴヘル



S.オニクボ 写真展 「顕現・apparition」 11月5日(木)-11月15日(日)

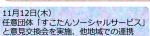
「SEEX 23 Market Street

春画解説本鑑賞会」 主催:セックスミュージア **人設立進備委員会** 9月26日(土) 来場者数·8名

その他展覧会は来年度に延期開催予定 「AAセクシャルマイノリティ・グループ」 「中国語教室」等の利用があった

連携によるコミュニティへの情報発信















11月27日(金)~12月25日 第34 回日本エイズ学会 学術集会・総会 オンライン開催 ブース出展および発表

21

アウトリーチプログラム

New!akta オンラインtalk show

(東京都委託事業)

プログラムの目的:コミュニティへの情報共有、意見交換、普及啓発

対象なる人や施設:コミュニティの人たち、商業施設のオーナーやスタッフ、aktaボランティアスタッ

フ、HIVに関連した活動をしている人たち、LGBTs

実施内容:

9月27日(日) akta Talk Show「最近、セックスどう?-コロナ禍におけるセックスについて-」

出演者: 古藤吾郎 (ソーシャルワーカー/NYAN (日本薬物政策アドボカシーネットワーク) 事務局長 司会: マダム ボンジュール・ジャンジ、KD (akta) ライブ視聴数:約30名 ※aktaチャンネルからLIVE配信

12月19日(金) akta Talk Show「専門家に聞こう! U=Uキャンペーンとはなにか?これまでとこれからのHIV/エイズの 取り組み

出演者:井上洋士(順天堂大学大学院 教授/Futures Japanプロジェクト 代表) 四本美保子(東京医科大学病院 医師/厚労科研「HIV感染症及びその合併症の課題 を克服する研究班」研究分担者),木南拓也(akta) 司会:岩橋恒太(akta) ※aktaチャンネルからLIVE配信 視聴数: 210回 アーカイブ視聴数: 240回(3/13)

2月19日(金)「NGO・NPO スタッフ向けPrEP勉強会」

講師: 国立国際医療研究センター エイズ治療・開発センター(ACC) / SH外来 上村悠 (医師) 、高野操 (看護師) 司会:岩橋恒太 (akta) 参加者19名 ※ZOOMを使用してオンライン開催

3月 「ヒューマンアーカイブ 長谷川博史さん」

ゲスト: 長谷川博史 (NPO法人ジャンププラス理事) コメンテーター:生島嗣(認定NPO法人ぷれいす東京 代表),松中権(認定NPO法 人グッドエイジングエールズ 代表) 司会: マダム ボンジュール・ジャンジ(akta) 共催: プライドハウス東京 ※aktaチャンネルから配信 視聴数:165回(公開4日後)



DELIVERY HEALTH PROJECT

目的:定期的に情報を届けてaktaの周知と普及啓発を行う





資 材

516ヶ所へ届ける、516ヶ所からの情報発信

新宿2丁目

ゲイバー169店舗

毎调金曜日 (第3週を除く)

MSMが集まる商業施設に 顔と顔をあわせた定期的アウトリーチ

現在、新宿・大久保・上野・浅草・池袋・新橋・渋谷等の商業施設は 郵送で対応

ゲイバー67件/性風俗店 25件/ポルノショップ 8件

全国

MSMを取り巻く環境 毎月月末十日

行政機関 17件/議員5名/教育機関 19件/医療機関 54件/研究機関 7 件/保健所 54件/HIV関連NGO 13 件/セクシャリティ関連NGO 15件 /制作関係者 17件/センター10件 /メディア関連 10件/企業 13件/ その他 13件

- MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 -

啓発普及の基点(連携のハブ)

HIV関連機関との連携



- 資材制作 -

ゲイコミュニティとの連携

akta monthly schedule

プログラムの目的: community center aktaの周知と、DELIVERY BOYSの配布店舗へのインタビュー記事を通し、 活動をはじめ、HIVや性感染症へのイメージや二丁目のコミュニティ感覚について考えるキッカケづくりとして発信す るフリーペーパー。(2017年4月より配布開始、BARインタビューは2017年8月よりスタート)



発行部数: 2020年8月号~2021年3月号まで各号5000部発行、配布

配布先: 新宿二丁目のBAR&クラブ/169店舗 その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショッ プ)/79店舗 保健所/54施設 クリニック14施設、行政・教育・医療・研究機関等/87施設 HIV関連NGO/23施設 その他/69施設

- MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 -

地域の商業施設数と連携 ※(こて目の原練的)

C - 77 - 77 -						
	地域の店舗数	連携店舗数	連携率(カバー率)			
ゲイバー	595(296)	236(169)	39.6%(57.0%)			
有料八ッテン場	45	25	55.5%			
ゲイナイト	-	2				
ウリ専	130	(3)	2.3%			
ゲイショップ	31	8	25.8%			
サウナ・ホテル	13	4	30.7%			
マッサージ	437	0	0.0%			
ゲイ雑誌	-	2				
スマホアプリ	-	3				
ウェブサイト	-	4				
ゲイサークル	-	2				
その他		1				
			20			

26

- 資材制作 -

デリヘルくんが聞く!突撃インタビュー!! (冊子)Vol.2

プログラムの目的: 「akta monthly schedule」内にて2017年8月より掲載している「デリヘルくんが聞く!突撃 インタビュー!!|をまとめた冊子の第2弾として、2019年4月号~2020年12月号までの内容を、情報を追加したリ メイク版を作成する事で、更なるaktaの周知と、コミュニティーとの連携を強める。またHIV検査について取り扱い、 検査行動促進へとつなげる。



発行部数:2021年1月に2000部発行、配布

配布先: 新宿二丁目のBAR&クラブ/169店舗 その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショッ プ)/79店舗 保健所/54施設 クリニック14施設、行政・教育・医療・研究機関等/87施設 HIV関連NGO/23施設 その他/69施設

DELIVERY HEALTH PROJECT



デリバリーボーイズ

プログラムの目的: セーファーセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を

提供する。また情報を届けると共に、街や店内の雰囲気や反応をキャッチしてくる

対象となる人や施設:新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブの顧客と従業員。

また、参加するボランティアスタッフも対象となる。

実施内容

毎週金曜日に、お揃いのユニフォームを着て、新宿二丁目を中心 としたゲイバーやクラブにコンドームをはじめとした性の健康に 関する様々なアイディアを配布(アウトリーチ)する活動です。

※新型コロナウイルス感染症の流行を受け、マスクの着用・実施 前の検温・消毒(活動中も適宜消毒)を行い、感染症対策を施し実



コンドーム配布数

(2020年4月~2021年3月末まで)

年間13,865個 1回約500~1000個配布。

稼働日数:16日※ポスティングを含む



方法の模索

緊急事態宣言期間中など、直接のアウトリーチができない際の アウトリーチ方法として、ポスティングやLINE公式アカウント の開設等を行った。

実施日時:毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時~22時 登録者数:125名(内毎回10~20名前後のスタッフが参加)

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、隔週(第2 第4金曜日)へと変更した。また政府による緊急事態宣

配布店舗数:169店舗

言の発出期間中は活動を休止した。

ウェブサイトを用いた啓発

DELIVERY HEALTH PROJECT

デリバリーボーイズ・ボランティア向け研修会

プログラムの目的:活動に参加するボランティアを対象に、HIV/エイズの基礎知識や、ワークショップ等の研修会を 開催することにより、知識と意識の向上を図る。またスタッフ同士の交流や意見交換を行い、より一歩ステップアップ した活動を目指す。

※新型コロナウイルス感染症の流行を受け、センターや会場にボランティアスタッフを集めての実施が困難のため、 Zoomを利用したオンライン上での以下プログラムに変更し実施した。

オンライン研修会



実施日:2020年9月4日 講師:笹井アスカ氏(ViiVヘルスケア) 実施内容:「HIV陽性者にとってのU=Uのインパ クト、知ることの重要性」について、HIV陽性者 を対象とした海外でのWEB調査の報告から学んだ。 参加者からは、多くの人がU=Uの知識を持つこと の重要性と、ゲイコミュニティの中で情報が広ま

ることについて語られた。

実施日:2021年2月19日

講師:上村悠先生、高野操先生(国立国際医療研 究センター エイズ治療・開発センター/SH外来) 実施内容: PrEPの自己輸入をはじめ、周囲でも聞 かれるようになってきた中で、正しい知識や動向

について学んだ。

デリヘルHR(ホームルーム)

実施内容:デリバリーボーイズの近況、性行動、コ ロナ禍における生活の変化(仕事、学業、家庭)に ついて話し合った。

また、勉強会開催前や資材完成時はそのテーマに沿 った情報共有(U=UやPrEP、コロナ禍のセーファ ーセックス)を行い、デリバリーボーイズのニード を把握した。

活動が行えない中で、顔を合わせた場を設けること で、モチベーションの低下を防いだ。また、参加し たメンバーからは近況はもちろん、セックスに関す る話など、普段できない話ができたという感想もあ り、話しやすい空間の提供へとつながった。

実施日:基本第1・第3金曜日 表記日:基本第1・第3金曜日 参加人数:4人~8人/1回(全18回)



オンラインという特性を活かし、普段は参加が難しい東京以外の地域からも 多く参加があり、様々な意見交換のキッカケとなった。

akta YouTube チャンネル 🔼

動画を制作して、定期的にaktaの活動紹介とHIV・セクシュアルヘルス の情報発信を、YouTube aktaオフィシャルチャンネルから発信!

2019年11月1日スタート!

2020年4月1日~2021年1月31日

視聴回数10,085回(参考: 2019年11月~2020年3月の視聴回数2,475回)

登録者数: 252人(前年度より164人増)



主な動画コンテンツとトピック

akta大学



3分×3分





資材紹介

大学の講義形式で、トピック についてポイント解説を行う。

aktaスタッフが、視聴者の疑問 に3分以内に回答するコーナー。

aktaが作成している資材等に ついて、紹介するコーナー。

ー HIVマップ ー

HIVの総合情報サイト www.hiv-map.net

SP画面



HIVお役立ちナビ 予防啓発/検査/治療/ 支援などを紹介するリ ソース集

あんしんHIV検査 サーチ

首都圏MSM向け検査 情報提供

HIV/エイズガイド HIVの基礎知識につい て、マンガとテキスト で紹介

H.POT 日本のHIVの基礎情報 を対日外国人に11言 語で紹介



(厚生労働省受託事業)

33

2020年 HIVマップ 活動の柱

- ・ COVID-19の流行および政府による緊急事態宣言の発出により、多くの保健所でのHIV検査機会や、各NPO等の相談サービスが一時休止、規模縮小。そのため厚生労働省に相談のもと、令和2年4月にHIVマップ上に注意喚起のためのポップアップメッセージを公開。
- ・ 新コンテンツ「検査まるわかり情報局」の制作
- ・ 内部充実、HIVマップのすべてのコンテンツの内容を 最新情報に基づき大幅更新
- ・ 全国のMSMが利用しやすいHIV検査情報等の紹介ページの作成

34

検査まるわかり情報局と全国のHIV検査情報

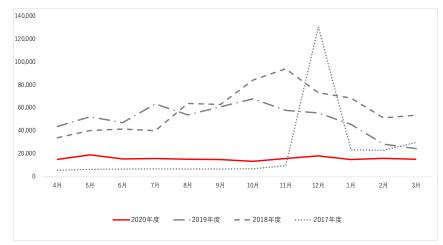


「検査まるわかり情報局」は、「HIV 検査の新常識 8つのポイント(最重要 ポイント集)」、「なるほど検査 Q&A(よくある質問集 16問)」、「検 査用語集(37項目)」で構成



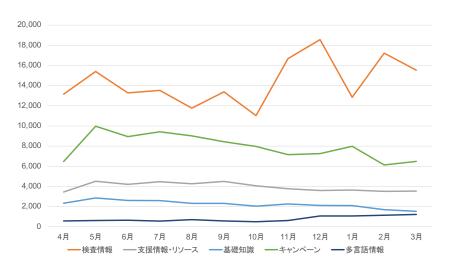
全国のコミュニティセンターや MSM ALL JAPANプロジェクトに 参加するNPOが運営する検査情報 ウェブサイトと、全国にある特に MSMが利用しやすい特設検査施 設情報を集約

HIVマップ ユーザー数推移 (2017~2020年度比較)



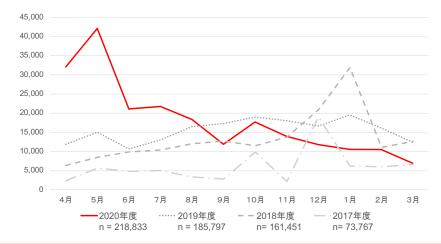
2019年度に比べ、ユーザ数が68%減少

HIVマップ 2020年度 コンテンツ別 アクセス数推移



年間を通じて、HIV検査情報ページのアクセス数が最も多いしかし、2020年1月以降アクセス数が大幅に減少 37

akta.jp ユーザー数推移 (2017~2020年度比較)



2019年度に比べ、ユーザ数が118% 一方で、年度の後半で減少傾向

39

akta.jp ~ウェブ上でのaktaへの入り口



コミュニティセンターaktaとそ のプログラムを紹介するサイト

- · community center akta
- DELIVERY BOYS
- Living Togetherのど自慢
- デリヘルくんが聞く!突撃イン タビュー!!
- HAVE A NICE SEX!
- 特定非営利活動法人akta
- 「NEW!] コロナ支援情報
- [NEW!] ARCHIVE
- ・ [NEW!] デジタルコンテンツ 紹介

38

2020年度 akta.jp PV数 ベスト10

順位	コンテンツ名	ページビュー数	ページ別訪問数
1	特集記事 新型コロナウイルス感染症 vol.1 「ロックダウン中はヤリモクで人に会うのをひかえよう」	100,833	96,590
2	have a nice sex	58,006	52,213
3	Covid-19の支援情報	22,566	19,291
4	akta.jpトップページ	19,406	14,296
5	デリヘルくんが聞く 突撃インタビュー!!	13,498	10,829
6	新型コロナとセックス・HIV予防のアンケート	11,721	10,581
7	U=U 2020キャンペーンサイト	11,339	10,210
8	もっと自分のカラダのことを知ってみよう	8,466	8,104
9	コミュニティセンターakta紹介ページ	2,997	2,398
10	MSM ALL JAPANキャンペーンページ	2,897	2,570

HIV検査普及プログラムと 行政連携

41

検査環境の整備と検査行動の促進 保健師(HIV検査担当者)研修会

東京都

東京都福祉保健局 健康安全室感染症対策課 エイズ対策係

神奈川坦

神奈川県保健福祉局 健康医療部健康危機管理課 感染対策グループ

千葉県

千葉県保健福祉部 疾病対策課 感染対策室

埼玉県

埼玉県保健医療部 保健医療政策課 感染症・ 新型インフルエンザ対策担当

毎年実施されてきた保健師研修会が、<u>COVID-19の影響により、**すべて**</u> **の地域で中止**。そのため、特に今年度はエイズ予防財団や保健医療科学院等での研修機会に積極的に講師として協力。

プログラム -コーディネート: 生島嗣/ぶれいす東京

- ① 開催都県のHIV/エイズ対策の共有
- ② アイスブレイク
- ③ 陽性者の手記リーディング(HIVのリアリティの共有)
- ④ セクシャリティへの理解と求められる配慮
- ⑤ MSM検査の最新情報~HIV対策における検査の重要性~
- ⑥ 検査環境の取り組み事例の紹介と意見交換
- ⑦ セクシャリティに配慮した 模擬対応
- ⑨ 相談・支援に役立つリソース紹介/akta見学

アンケート

研修を通して…性的な話題への抵抗感を感じる人が少なくなった/身近にMSMがいる意識が高まる傾向が見られた/HIV陽性者の相談も他の相談者同様に対応する自信をつけた人が増えた/情報がアップデートされた

MSMへの理解を深め、MSMが安心して検査を受けられる環境整備

検査環境の整備と検査行動の促進

戦略研究終了後、2011年4月からの取り組み

MSM首都圏グループ (NPO法人ぶれいす東京+NPO法人akta) + 厚生労働省エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究

効果評価

厚生労働省エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効な HIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」との連携による調査・効果評価の実施。

・MSMにおける啓発活動の広がりを 把握するコミュニティでの質問紙調査

MSMを対象とした HIV検査普及・広報

・HIV検査普及のための 資材の企画・制作

・首都圏地域のゲイ向け商業施設への アウトリーチ

検査環境・相談支援の整備

- ・エイズ対策事業に関する意見交換会の開催
- ・HIV検査従事者に向けた研修会の実施 (都県とMSM首都圏グループで実施)
- 通常検査・臨時検査検査情報収集
- ・支援・相談情報提供 ウェブサイト: HIVマップ





連携による検査普及の課題

コロナの影響による保健所検査の停止

- 東京都内の保健所は、一時、南新宿検査・相談室等の 特設検査相談施設を除いて大半の保健所がHIV検査実 施を中止・延期をした。
- 常にコミュニティや個々の声を聞くことの重要性。
- aktaの活動が検査に偏らないように、一次予防などとの活動のバランス。
- 増加している外国人への検査機会と支援・情報提供の 検討。
- トランスジェンダーなど、性の多様性への配慮。

検査環境の整備と検査行動の促進

行政機関と連携した検査広報

東京都

東京都福祉保健局健康安全部

各保健所の個別情報→ウエブサイト紹介 都の検査施設のみ紹介、4000部作成・配布



みなと保健児

新橋あんしん検査

・昨年を上回る受検査者数となった



2020年度中止!

- ・埼玉県保健医療疾病対策課(HIV・梅毒日曜検査等の広報を年6回) 草加保健所(MSM限定検査会)広報および相談員の派遣
- ・新宿区保健所 ゲイのためのエイズ・性感染症検査(年2回)

45

Living Together - HIVのリアリティを伝えるプログラム

- 行政連携-

行政機関と連携した検査広報:千葉県

プログラムの目的:ゲイ・バイセクシュアル男性があんしんして検査を受けられる環境を整備して、セクシュアリティに配慮した検査普及を行い、HIV感染の早期発見をし、エイズ発症により感染を知るケースを減少させる。

連携内容: ゲイに人気のアプリやネット媒体(9monsters、MENS NET JAPAN)にて、バナー広報を展開。セクシュアリティや地域性を考慮したイラスト、デザインでのバナー広報を展開した。
※今年度は新型コロナウイルス感染症の流行を受け、自治体による検査会が中止となり、実施のあった検査会の広報のみを行った。
実施日程と施設:
1.令和2年11月22日(日)浦和市民プラザWAVE101

帯バナー

「おれ2年11月22日(日)浦和市民プラザWAVE101

「おれ2年11月21日(日)浦和市民プラザWAVE101

「おれ2年11月21日(日)浦和市民プラザWAVE101

制作物: 受検者に対して、不安をやわらげる 電話相談や感染予防の情報サイトの紹介など、 HIV/エイズに対する理解を深められるような 啓発資材を作成・配布する。

・受検者が持ち帰れるA7サイズの情報カード・コンドーム



46

WE'RE ALREADY LIVING TOGETHER.

HIVを持っている人も、 そうじゃない人も、 まだ分からない人も。 わたしたちはすでに、 いっしょに生きている。 WE'RE ALREADY LIVING TOGETHER.

Living Together 2021

プログラムの目的:

- ・HIVを自分の事として、<mark>身近に捉える機会を提供</mark>する
- ・陽性者の声を可視化して、スティグマを低減する。そして誰もが生 きやすい環境をつくる
- ・自分の行動を振り返り、<mark>予防行動・検査行動へつながる</mark>

方法:

- ①陽性者や周囲の人が書いた手記集のアーカイブ化
- ②手記リーディングのオンライン配信
- ・HIV陽性者や周囲の人が書いた手記のリーディング、HIVの最新情 報の提供、LIVEやパフォーマンス等で構成
- ・それぞれ異なる背景をもつ多様なゲストが出演する 協力「Living Together計画」:多様性を伴った視点からすべての人がHTVとともに生きているというリアリティを共有するためのプロジェクト(ぷれいす東京とaktaが呼びかけ団体)

効果:

<mark>あらゆる地域から視聴可能</mark>なことで、より多くの人に届けることができる

49

51

New!オンライン配信LIVEショー

3月12日(金)19時~3月15日(月)9時まで

aktaチャンネルでプレミア公開! 視聴数:825回 ※ゲイメディアが協力

方法:司会2名、朗読ゲスト2名、LIVEゲスト1名 時間:約45分 収録したものを後日aktaのYouTubeチャンネルで期間限定で配信

内容: ゲストがHIV陽性者やその周囲の人の手記を朗読し、感想を話す

LIVEパフォーマンスによるショータイム



New!オンラインリーディング

方法:司会1名,ゲスト1名 時間:約15分合計視聴回数:919回(3月末)

収録したものを編集し、後日aktaのYouTubeチャンネルで配信

内容:ゲストがHIV陽性者やその周囲の人の手記を朗読し、感想を話す



第1回ゲスト: そうしさん (LGBT英会話)



第2回ゲスト:佐藤郁夫さん(ぷれいす東京)



WE'RE ALREADY LIVING TOGETHER

第3回ゲスト: じんべえさん (東京都福祉保健局) 第4回ゲスト: シゲ先生



WE'RE ALREADY LIVING TOGETHER

50

調査・研究

●学会報告

- ・岩橋恒太「HIVコミュニティからの「新型コロナウイルス感染症に対する要望書」アクションの紹介」,第34回 日本エイズ学会学術集会(オンライン)
- ・岩橋恒太「教育講演 MSMにおけるHIV予防啓発活動」, 第34回 日本エイズ学会学術集会(オンライン)
- · Kota Iwahashi "A brief overview of the current situation of U=U in Japan", apcom community summit 2020, Bangkok
- ・荒木順、金子典代、木南拓也、柴田恵、岩橋恒太、藤原孝大、鈴木敦大、高久道子、高久陽介、市川誠一、張由紀夫、生島嗣「ゲイバー等の連携による「Living Togetherのど自慢」の実践とその効果について」第34回 日本エイズ学会学術集会(オンライン)

●論文・レポート報告

Kaneko, Noriyo, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, and Seiichi Ichikawa. 2020. "Correlates of Lifetime and Past One-Year HIV-Testing Experience among Men Who Have Sex with Men in Japan." AIDS Care, November, 1–8.

岩橋恒太. 2020. "HIV 検査受検者との支援的コミュニケーションにおける, NGO スタッフの役割と実践の検討." 日本エイズ学会誌= The Journal of AIDS Research 22 (3): 129-35.

岡慎一, 岩橋恒太, 高久陽介, 松下修三. 2020. "座談会 COVID-19 パンデミックから学ぶ HIV 診療・治療のあるべき姿." HIV 感染症と AIDS の治療 11 (1): 53-63. 荒木順, 岩橋恒太. 2020. "民間における LGBT に向けた取り組み 新宿二丁目を基点に活動する Akta の取り組み (特集 LGBT とは: 多様な性と向き合うために理解しておきたいこと)." 保健師ジャーナル 76 (7): 539-41.

53

COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み

COVID-19 流行時のMSM向け検査戦略

- ・ 保健所検査は依然として重要だが、コロナ対応で検査自体 を止まってしまった
- ・ 利便性で課題、対面忌避するMSMに届きにくい
- ・ 従来の保健所検査以外にも検査機会の確保が重要
- ・ 民間医療(クリニック)や郵送検査の活用が有効

効果的な展開のために

- NPOが、MSM向けスマホアプリ広告を使い、企画、発信、 広域に展開
- ・ 初めから行政を巻き込む
- 地域の医療のキーパーソンと連携して、クリニック連携を 広げる

2020年度の主な研究分担・協力

- ・厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効な HIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」研究代表者 塩野徳史
- 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確率及びPDCAサイクル構築のための研究」研究代表者 塩野徳史
- 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」研究代表者 今村顧史
- 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV受検勧奨のための性産業従事者や事業者等に対する効果的な介入に向けた研究」研究代表者今村顕史
- 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「外国人に対するHIV検査と医療サービスのアクセス向上に関する研究」研究代表者 北島勉

54

akta ゆうそう検査 2020



厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究」の研究として検査を実施

新たな取組み

- 梅毒TP抗体検査を実施
- COVID-19の流行を受け、 受け取りをウェブシステムを用いた予約制、説明 をなるたけコンパクト化
- 確認検査受入機関として、 行政の他、東京都内15の 医療機関と連携

キットはスタッフから手渡しで配布。

受検者は自己採血キットにより指先より採取した血液をろ紙にしみこませ、検体を郵送で検査会社に送付。

スクリーニング検査結果を専用webサイトで確認する。 2021年2~3月にトライアル実施。

55

COVID-19のインパクトのなかでの MSMへの検査普及の取り組み

・2020年度MSM ALL JAPANチームに 参加する、

北海道(にじいろほっかいどう)、 東北(コミュニティセンターZEL)、 東京(コミュニティセンターakta)、 神奈川(SHIP)、 愛知(コミュニティセンターrise)、 大阪(コミュニティセンターdista)、 瀬戸内(HaaTえひめ)、

福岡(コミュニティセンターHACO)、 沖縄(コミュニティセンターmabui)

の全国9地域で、MSM向けHIV・梅毒 郵送検査キットプロジェクト「ゆうそ う検査しを開始。



59

首都圏MSM対象

新型コロナとHIV予防について のアンケート:横断調査 概要

- 調査目的
- COVID19流行のもとでの、首都圏のMSMにおける性行動、HIV検査受検行動等の予防行動、および新型コロナに関する意識
- ⇒ 特に第1回目の緊急事態宣言(2020年4~5月)以前、以後の変化
- 調査実施期間
 - ▶ 2020年10月16日から26日の11日間
- リクルート方法
 - ▶ 首都圏居住のMSM限定
 - MSM向けGPS機能付き出会い系アプ リにバナーを掲載
 - ▶ 有効回答 1,713件
 - 本報告での分析対象 1,373件(20歳以 上、MSMかつHIV陽性でない)



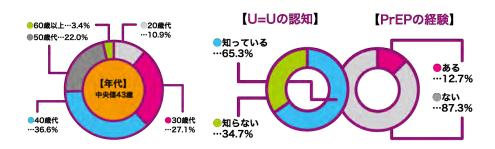
厚生労働省「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」(研究代表者 今村顕史) 「MSMのためのHIV検査相談環境の改善と受検支援に関する研究」(分担研究者 本間隆之)にて実施

58

60

回答者の概要

数値は% (n=1327)

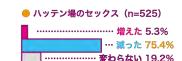


緊急事態宣言前後の 半年間を比べての回数や量

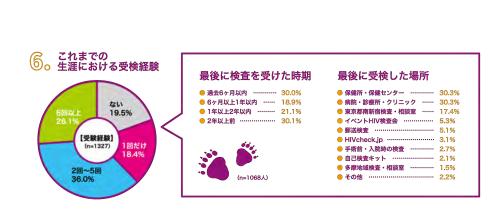












61

V.P.D for MEN ワクチンで防ぐことができる性感染症







MSMに向けてV.P.D(ワクチンで防ぐことができる性感染症)のコンセプトを伝える目的で、病態の基本情報、ワクチンの接種方法、費用のおおよその値段を説明。 A型肝炎、B型肝炎、尖圭コンジローマを中心に紹介。

2019年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」にて作成

ア 緊急事態宣言後の半年間における ○ 【検査の受検意図】と【検査控えの経験】

【検査の受検意図】

HIV検査を 受けたいと思ったこと…… (n=1327)

ある 46.3% ない 53.7%

【検査控えの経験】

新型コロナの 感染予防のために、 HIV検査を 受けるのを控えたこと・・・・・・ (n=614)



- ●再開してからもともと検査予定だった施設で検査した
- •電話で問い合わせて、検査してもらった
- ●時期をずらして受診した
- ●SH外来
- 検査をしなかった
- ●延期した

緊急事態宣言後の半年間において、 HIV検査が休止で受けられなかった経験

保健所が 休止 15.3% 病院が 休止 5.9% その他 77.9%

HIV検査を受検できなかった割合は21%だった

保健所や病院のHIV検査が利用できなかった時、 他のHIV検査を利用しましたか? (n=136) ● 4月以降は検査を受けていない …………… 61.0% ● 他の地域の保健所・保健センターを利用 ……… 5.1% ● 他の病院・診療所・クリニックを利用 ………… 8.1% ● 東京都南新宿検査・相談室を利用 ……… ● 東京都多摩地域検査・相談室を利用 …… ... 0.0% ... 1.5% ● 郵送検査を利用 … . 1.5% ● 自己検査キットを利用 …………… イベントHIV検査会を利用 … .. 4.4% ^ その他 ……… ... 8.1%

62

MSMを対象とした梅毒の注意喚起



MSMの間での梅毒の流行および梅毒検査の普及啓発に際して、改めて梅毒の注意喚起を行うキャンペーンを実施。 2015年に展開したキャンペーンを、情報をアップデートしてリバイバル。

厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」にて制作。



U=Uキャンペーン 2020

2020年

- ・1月 Prevention Access CampaignのBruce Richmanさんらが来日、医療者や行政、NPOなど市民社会と勉強会や意見交換会が行われた。
- ・3月 『抗HIV治療ガイドライン』のなかで、「 HIV 診療にあたる医療者はU=Uについて患者に伝える必要があること」が言明される。



- U=Uのキャンペーンのメッセージと6つのポイントを、akta、日本 HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス、ぷれいす東京とともに制 作
- 日本のコミュニティにおけるU=Uの課題にも触れる
- 「セックスとライフスタイルに関すること」だということを伝えるためのビジュアル
- 日本に住む外国人にも情報が伝わるように、多言語での情報提供

65



2020年11月~12月を中心にキャンペーン展開

- U=Uに関するポスター、パンフレットの制作
- 同内容のウェブサイトを制作、6言語での展開
- HIV専門医、研究者とともにオンライン勉強会を実施



66

U=U Q&A factsheetの作成







U=Uキャンペーンのアウトリーチ・展開中に、様々な質問・疑問が寄せられた U=Uに関するコンパクトで平易にまとまったQ&A集が必要とされた 英国のi-Baseによって2018年に制作されたファクトシートについて、コンタクトを取り、日本語翻訳と 日本向けにリデザインを行った

新型コロナウイルス感染症と 新宿二丁目の対応

新宿二丁目でのCOVID19対策①

2020年3月末

- 東京都が週末外出自粛要請を発出
- → 新宿二丁目で働く人たちの希望者を集めた 緊急会議を実施
- → 情報交換用のLINEグループを立ち上げ
- コーディネーターを新宿二丁目振興会会長担当

4月~6月

- 政府が緊急事態宣言を発出(4月7日)
- → 営業自粛・休業をする飲食店の事業者に 対する補填を求める署名活動
- → 営業再開に向けて、**二丁目のお店の形態・実態にあう**

予防対策ガイドラインが共有され、各店で対策が進められる

- → LINEグループにて予防対策の実践例等の情報共有や相談
- → 家賃補助に関する勉強会・相談会を実施

7月

- お店とNGOが連携する、新宿二丁目COVID19対策ネットワーク を組織(事務局 akta)
- 感染者発生時のお店の対応のための勉強会を実施
- 新宿二丁目で働く人を対象とした<u>COVID19に関するアンケー</u> <u>ト実施</u>

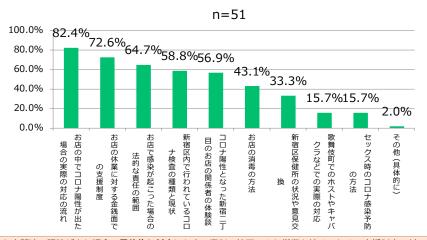


感染者発生時の対応のための バー関係者向け勉強会 69

新宿二丁目COVID19アンケート(2020年7月23日~29日実施)

COVID19の情報について、

今後どんなことを知りたいですか? ※ 複数選択



お店関連で<u>陽性が出た場合の**具体的な対応**やお店の責任の範囲</u>、また営業を続けるための支援制度に対して関心が高かった。 71

エイズ対策に携わってきた市民団体、HIV陽性者、研究者有志グループによる「新型コロナウイルス感染症に対する要望書」

日本全国の市民団体、HIV陽性者、研究者、32の組織・個人が、HIV対策で学んできたことを活かし、市民の視点に立ったCOVID19対策を実現することを求める要望書を、2020年5月15日、厚生労働省に提出事務局、ポれいす東京・akta

要望事項

- 1. HIV/エイズの予防対策や治療への影響の現状把握と改善に向けた取り組みを行うこと、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する場合への対策を準備すること
- 2. 新型コロナウイルスに感染した人及びその周囲の人々の**人権を守り、 差別・偏見をなくすべく手段をつくす**こと
- 3. クラスター対策等での個人情報の収集については、市民との合意形成を重視し、常態化を避けること
- 4. 社会において脆弱性をもつ人々の背景に配慮し、**当事者参加型**による 啓発・支援の対策を構築すること

詳細は下記に掲載 https://ptokyo.org/news/12643

新宿二丁目 COVID19陽性事例の聞き取り調査 (2020年9月実施)

※ お店が特定されないように、一部、複数の事例を混ぜて構成。 新宿二丁目にあるゲイバーでの事例

- 7月にお店のスタッフが発熱
- →新宿区保健所へ相談。PCR検査を受け、COVID19陽性が判明
- →オーナーがお店を休業することを決め、保健所の指導の元で対応
- ・感染可能性のあるスタッフや客、特に**濃厚接触者に当たる人たちのリスト**を作成
- →お店のスタッフがお客全員の連絡先を把握できていた。そのため、スタッフの陽性が判明した翌日には、全員に連絡を完了。
- →濃厚接触者に対し、発熱など症状が出た場合に保健所に連絡してくださいと指示をもらう。

お店の規模が大きく全てのお客の連絡先を把握していなかったり、 個人情報をオープンにしたくないお客がいる場合もある。 発生が起こったお店の対応・指導にあたった保健師等への感謝の言葉は多く聞かれた?。

新宿二丁目 COVID19陽性事例の聞き取り調査 (2020年9月実施)

※ お店が特定されないように、一部、複数の事例を混ぜて構成。

・**感染可能性がある人**が保健所への連絡を躊躇したり、 PCR検査受検につながることができないことが起こった。

→保健所等に感染可能性があることを説明する際に、自らがゲイバーに行っていたことを細かく話さなければならず、**自分のセクシュアリティを隠しておきたい人間関係**にも知られてしまうのではないかと危惧し、連絡しにくく感じた。

→<u>地元の保健所</u>に連絡した際、<u>新宿二丁目のバーのあり方や状況に理解してもらえず</u>、PCR検査受検につなげてもらえなかった。そのため、自己負担でPCR検査を受検し、COVID19陽性が判明した。

感染リスクがあり**受検が必要な人が安心して** 検査を受けられる体制の整備が求められる。

通常時(感染がある程度収まっている段階)から当事者の意見をヒアリングし、業種や地域の特性 や受検者のもつ多様な背景を踏まえた、支援を含む体制・準備が必要。 73

新宿二丁目でのCOVID19対策②

9月

- 「コロナとセーファーセックスのために今 できること」のパンフレット作成・配布
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策分科会「大都市の歓楽街における感染拡大防止対策ワーキンググループ」にて、コミュニティセンターaktaでのHIV対策の取り組みおよび新宿二丁目でのCOVID19対策の発表

10月

新型コロナウイルス感染症対策分科会「偏見・差別とプライバシーに関するワーキンググループ」に意見書の提出

11月

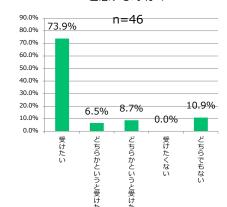
- ・ 新宿二丁目で、新宿区保健所との共催で新型コロナウイルス感染症に関する勉強会・ 意見交換会を実施
- 新型コロナとHIV予防についてのアンケートを実施



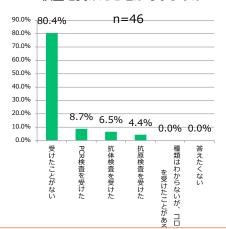
新宿二丁目COVID19アンケート(2020年7月23日~29日実施)

COVID19のPCR検査を受けたい

と思いますか?



あなたはこれまでにCOVID19の 検査を受けたことがありますか?



PCR検査の高い受検希望に対し、受検経験は9%程度。 受検希望者のうち、**COVID19の感染リスクにある者の受検**を難しくしている可能性はないか、またその<u>阻害要</u> 因が何であるのかを明らかにする必要がある。 74

まとめ

2025年 エイズターゲット - HIV陽性者とリスクに直面 している人たちのコミュニテ ィを中心に

Ending AIDSの戦略が、 「単線」のイメージから 「**円環」の**イメージへ変更

これらのターゲットは人びとを重視しています。 HIVやCOVID-19といったパンデミックの高いリ スクにさらされ、社会から疎外されがちなびと を中心にすえることで、パンデミックの拡大を 促す不平等の解消をはかるものなのです。

ウィニー・ビヤニマ UNAIDS 事務局長

■ 10% ≥ 3 ■ 95%以上 ■ 統合的アプローチ

77

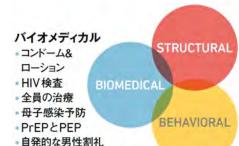
日本のエイズ対策の **Bounce Back Better!**

Combination Preventionの時代のNGOの活動でいえば...

- ・Community Health Workerとしての役割・機能を再定義
- ・PrEP啓発など、さらなるトレーニングや連携、評価が 必要
- エイズ対策における、さらなるマルチステークホルダ
- ・プロセスを進めるよう働きかける



コンビネーション予防: HIV予防のツールボックス



Pan American Health Organizationより引用

薬物使用者の注射針交換

構造的

- HIV媒介と個別施策 層の脱犯罪化
- ジェンダーに関連する 暴力対策
- ・人権を守る法環境
- スティグマと差別を減 らす介入

行動学的

- 感染リスクを低減する ためのケア
- 包括的なセックス教育
- ピア教育プログラム
- ソーシャルマーケティ
- ングキャンペーン



- 予防対策が、バイオメディカルの面だけでなく、構造的、行動学的な面に も同時にフォーカスする<mark>包括的</mark>であること
- コミュニティエンパワメントの要素をもつこと

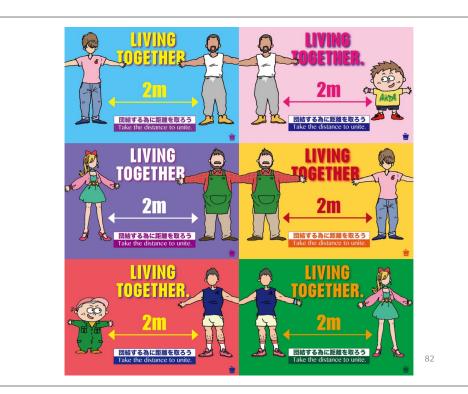
78

課題

- COVID-19の流行を受け、CBOの活動基盤や検査体制が 脆弱になり、90-90-90の根幹を揺るがしかねない状況。
- 若年層での感染報告数の増加が継続、中高年層のエイ ズ発症ケースも減少していない。 また滞日外国人MSM の感染報告も増加している。
- 治療が進歩している現在、引き続きU=Uのコンセプト やHIV/AIDSのリアリティの共有を図るとともに、偏 見・差別の低減をめざし、予防行動の促進と自発的な 早期受検によるエイズ発症を抑えることが求められて いる。検査においては定期受検の啓発が必要である。

aktaの課題

- ●活動の継続性について
 - →スタッフやボランティアの拡充と継続的に関われる体制 作り、資金の確保、NPOの体制見直し
- ●コンビネーション予防を踏まえて、どこに注力するのか
- PrEP,U=Uなどの情報をコミュニティにどう伝えていくのか
 - →新しい情報を正しくわかりやすく発信する
 - →情報の収集と整理、医療機関との連携とバランス
- ●重複した課題を持つ相談者や居場所としてセンターを利用 している人たちへの次のステップをどのように設定するのか
- ●MSMの中のマイノリティへの対策(滞日外国人、トランス ジェンダー、依存をもつ人、ろう者他)





akta 令和2年度活動報告書

2021年7月発行

発行:特定非営利活動法人 akta

〒 160-0022 東京都新宿区新宿2-15-13第二中江ビル302

TEL: 03-6380-0833/FAX: 03-6380-0575/E-mail: info@akta.jp

URL: https://akta.jp